NEWSLETTER

THE JAPANESE SOCIETY FOR PARAPSYCHOLOGY

JANUARY No. 21

運営委員長挨拶

金沢文雄

私はこのたび運営委員長の大役をお引受け致しました金沢です。名実ともに日本超心理学会の第一人者である大谷先生の後を受け、会の様々な運営、事務にたずさわることになりました。まことに非力ではありますが、運営委員の皆様と協力し、会の発展に全力を注ぎたいと思いますので、よろしくご協力いかいにします。

さて、近々年度計画を立案しなければなりませんが、事務の能率化、実験計画、Handbook of parapsychology の翻訳、迅速かつ正確な情報の整理と広報、内外の科学的研究グループとの連携、そして何よりも Japanese Journal of Parapsychology の発行等と課題は山積しております。此等遂行のためには、役員の精力的な働きが必要ですが、さらに財政面でのしっかりした基盤を確立しなければなりません。恐らく財政問題は今日の超心理学研究における最大の障害の一つであると思われます。また、現在の日本では超心理学が専業である人は殆どおりません。殆どすべての人は他に本職と研究領域をもち、超心理学の研究にいそしんでおります。若い新しい世代の中からこの領域を専攻する有能な人々が次々あらわれることを期待したいのです。更に学問の内容面では psi のメカニズム、測定可能性、メカニズムへの解明、等問題がひかえています。しかし超心理学は此等の困難にかかわらず極めて魅力的な学問であると思います。ともかくがんばりましょう。

研究機関紹介

McDonnell ESTABLISHES LABORATORY FOR PSYCHIC RESEARCH 超心理学センターが McDonnell Douglas の社長 James S. McDonnell の後援により Washington 大学に設立された。所長は物理学者の Peter K. Phillips 博士。彼はキングスカレッジ大学で B.S. プリンストン大学で PhD の学位を取得、ソニック大学で開かれた1979年 P.A. Convention の coordinator であった。

学会ニュース

第13回例会は1980年1月20日(日) 10.00～16.00 に、学士会館本館にて開催、出席者は下記の通り、金沢文雄、笠井敏吉、岩野秀夫、大谷宗利、計一十〇名。郡氏による指田他の人々の曲げ実験時における脳波測定の中間報告が行われた。スプーンは曲がったが、それと脳波との間の関係ははっきりせず、さらに今後の実験が望まれる。この他 Handbook の輪読が各人の担当者として行われた。

お知らせ

第140回月例研究会

下記要領での月例研究会を開催致します。

時：1980年2月17日(日) 10.00～16.00

所：学士会館本館 東京都千代田区神田錦町3-28

03-263-5201 (地下鉄 東西線 竹橋下車)

協議 1. 年度計画について

輪読 1. Handbook of parapsychology

担当 岩井一

NEWSLETTER OF JSPP No. 21, 1980. 1. 20発行
© 編集発行 日本超心理学会 (会費 200円)